

I 題材名 光と色のファンタジー

II 単元の指導構想

1 学習指導要領に示されている指導目標及び内容

(1) 指導目標について

第3学年及び第4学年の目標は、「(1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。」「(2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。」「(3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。」である。

また、この目標を受けて、指導内容がA表現(2)のア「感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けて表すこと。」「イ表したいことや用途などを考えながら、形や色、材料などを生かし、計画を立てるなどして表すこと。」「ウ表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表し方を考えて表すこと。」、B鑑賞の(1)のア「自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。」と構成されている。本題材は、これらの目標と内容を受けて設定したものである。

2 題材について

<教材について>	<題材の目標及び評価規準>		<目指す子どもの姿>
<p>本題材は、色セロハンを通した光が、トレーシングペーパーによってやわらかく美しい感じになることを知り、光と影の美しさを生かした飾りをつくる内容である。</p> <p>はじめに空き箱等にトレーシングペーパーを貼ってスクリーンをつくる。次に、片面段ボールや厚紙で好きな形を作り接着する。その上に光の効果を考えながら色セロハンをつけたり、いくつかのセロハンを組み合わせたりする。光を透すことで、微妙に変化する色の柔らかさや美しさ、面白さを感じながら表現を高めていく。</p> <p>したがって、本題材は子どもが材料の特徴を生かしながら、自分の表したいことを試したり、色や形をもとに対話的鑑賞を行ったりすることができる題材であると考えられる。</p>	<p>関 ・ 意 ・ 態</p>	<p>色セロハンと半透明の紙がつくり出す光と影の美しさを生かして、楽しんでいる。</p>	<p>今次研究の目指す子ども像</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>①友達とかかわりながら自他の表現を見直して、②互いのよさを認め合うとともに、③それによって広げた想の中から、自分にとって合うものを選ぶなどして、④自分の思いを色や形でよりよく表現をする子ども。</p> </div> <p>=この題材で目指す対話的鑑賞の具体の姿=</p> <p>①友達と進んで見たり、聞いたり、話したりしている。 見てみてきれいな色ができたよ。どれどれ。本当だあたたかい感じだね。この形はどうやってつくったの。カッターで切るのがうまくいったよ。</p> <p>②よいところ、面白いところを見付けて、伝え合っている。 ～さんの形がいいね。大発見だ。こんなやり方もあるんだ。セロハンを重ねたんだね。まねしたいな。〇〇の形に見えるね。やり方を教えて。</p> <p>③④対話的鑑賞から得たヒントを自分の作品に取り入れたり、自分のやり方を決めながら、表現をし続けている。 ～さんからヒントをもらったよ。さらに工夫できそうだ。やっぱりほくは、このやり方がいい。うまくできた！自信作だ。</p>
<p>はじめに空き箱等にトレーシングペーパーを貼ってスクリーンをつくる。次に、片面段ボールや厚紙で好きな形を作り接着する。その上に光の効果を考えながら色セロハンをつけたり、いくつかのセロハンを組み合わせたりする。光を透すことで、微妙に変化する色の柔らかさや美しさ、面白さを感じながら表現を高めていく。</p>	<p>発 想 ・ 構 想</p>	<p>紙テープや色セロハンの形や色の組み合わせを選び、つくり方や構造を考える。</p>	<p>気に入った感じになるように、材料を試したり、用具の使い方に慣れたりしながら工夫してつくる。</p>
<p>したがって、本題材は子どもが材料の特徴を生かしながら、自分の表したいことを試したり、色や形をもとに対話的鑑賞を行ったりすることができる題材であると考えられる。</p>	<p>鑑 賞 の 能 力</p>	<p>自分や友達の発想のよさや、違いを見付けたりしながら、共感して見たり、自分の表現をよりよくしようとしている。</p>	<p>③④対話的鑑賞から得たヒントを自分の作品に取り入れたり、自分のやり方を決めながら、表現をし続けている。 ～さんからヒントをもらったよ。さらに工夫できそうだ。やっぱりほくは、このやり方がいい。うまくできた！自信作だ。</p>

<復興教育（3つの教育的価値）との関連>

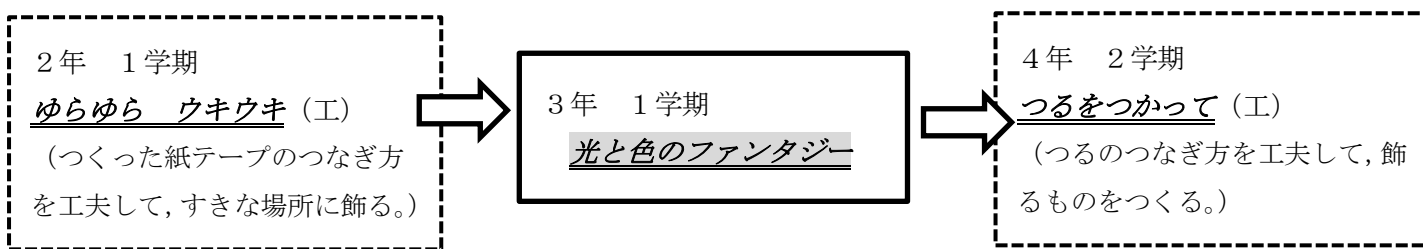
1 生命の大切さや心のあり方について【いきる】「③【価値ある自分】」との関わり

対話的鑑賞を通して、自分の思いを表現し開示すること（見る、聞く、話す）の喜びを積み重ねていく。また、互いに認め理解し合ったり、アドバイスし合ったりすることで、自分が必要とされていること、自分がのびのびと生活できる居場所があることを確かめることができるようにする。

2 人の絆の大切さについて【かかわる】「⑨【仲間や地域の人々とのつながり】」との関わり

表現の過程においては、喜び、感動、発見、成功などの経験・感情と、悩み、失敗、迷いなどの経験・感情がつきものである。その際に、友だちとかかわることで、喜びが何倍に膨らんだり、ヒントをもらい悩みが解決したりする。仲間とともに学ぶすばらしさを、学級全員で共有できるような対話的鑑賞を目指していく。

3 学習の系統（関連と発展）



4 指導計画及び評価規準

時間	段階 (分)	おもな学習内容と【評価規準】	対話的鑑賞のポイントと内容	指導上の留意点
2	着想 (15分)	(1) 色セロハンの透明感ある色彩を感じる。 (2) 半透明のトレーシングペーパーを通した、色セロハンの色彩と出会う。 (3) 途中の作例を鑑賞し、活動の方向性を見通す。 【関】光の透かし具合をいろいろと試しながら材料とのかかわりを楽しんでいる。 【鑑】参考作品に関心をもち、美しさなどの特徴に気付き、よさを味わっている。	・色セロハンやトレーシングペーパーの特徴（透明、半透明、光を透した時の美しさ、重ねた時の色具合の違い）を実感させる時間を十分に設定する。 ・仕組みを理解させる。 ①切る。 ②接着する。 ③組み合わせる。 ④飾る。	◆題材との出会わせ方を工夫する。 ・いろいろな色の色セロハンを蛍光灯や窓に貼り、教室が色で染められた空間に変身させておく。 ◆作例は完成品ではなく、活動の可能性を子ども自ら考えられる余地を残すようなものを用いて、見せ方を工夫する。
	発想 (20分)	(4) 試しながら色セロハンや形の組み合わせを考え、つくりたいものをイメージする。 【発】材料の特徴を生かしながら、つくりたいものを考えている。	・おおまかなイメージの交流 ・扱う材料の様々な組み合わせ方	◆適宜友達との交流の場を設け、つくりたいもののイメージをはっきりさせていく。 ◆用具の扱い方の習得 ・カッター、接着
	構想 (20分)	(5) 完成までの道のりを知り、用具の使い方に慣れる。	完成までに鑑賞する観点をはっきりさせる。 ①窓の形 ②模様の色具合・形 ③テーマ（題名） ④飾る場所	◆環境構成を工夫する。 ・材料、用具のコーナー（色セロハン、空き箱、トレーシングペーパー、片面段ボール、カッター、カッターの替え刃、接着剤） ・資料コーナー（作品の基本的なつくり方、学習計画） ・トレーニングコーナー（カッターや接着の仕方を練習する）
	表現 (180分)			

<p>3</p> <p>4 本時</p> <p>5</p> <p>6</p>	<p>鑑賞 (35分)</p>	<p>(6) 箱の窓枠の形や,色セロハンの配色などを考え,材料を選び,工夫してつくる。</p> <p>表現①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いや願いに沿って,試行錯誤しながら表現活動を行う。 <p>対話的鑑賞 →</p> <p>表現②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いをよりよく表現をする。 <p>【創】材料の組み合わせを工夫しながら,自分の表したいことを効果的に表現している。</p> <p>【鑑】友達作品や参考作品から,よさを学んでいる。</p> <p>(7) 窓に飾って透かし,互いの作品のよさに気付く。</p>	<p>鑑賞の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色セロハンの大きさ,重ね方,色具合 ・片面段ボールの形 ・作品のテーマ(〇〇の感じ,〇〇に見える) <p>鑑賞の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードを活用し,自己の活動の変容(上手にできたところ,上手にできるようになったこと)をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆いきつもどりの学習活動を推奨する。 ・途中途中で,光にかざしたり,友達と見合ったりして,色具合を確認しながら活動させる。 ◆作品出来映えだけではなく,製作過程の評価を大切にすする。 ◆自他のよさを認め合えるように,全員の作品を並べて集合させた時の美しさを味わう時間を設ける。
--	---------------------	---	--	---

III 本時の指導構想

1 本時の指導

想を広げながらよりよい表現をする子ども

今次研究の目指す子ども像

①友達とかかわりながら自他の表現を見直して、②互いのよさを認め合うとともに、③それによって広げた想の中から、自分にとって合うものを選ぶなどして、④自分の思いを色や形でよりよく表現をする子ども。

=本時の授業で目指す子どもの具体の姿=

①友達と進んで見たり、聞いた
り、話したりしながら表現して
いる。

**見えてみて。どれどれ。
見せて見せて。いいよ。
きれいな色ができたよ。
本当だあたたかい感じだね。
この形はどうやってつくったの。
セロハンの大きさをかえてみた
よ。**

②色セロハンの重ね方や、色具
合、材料の組み合わせ、接着の仕
方などのよいところ、面白いと
ころを見付けて、伝え合っている。

**～さんの形がいいね。大発見だ。
こんなやり方もあるんだ。
セロハンを重ねたんだね。まねし
たいな。光を透してみたい？
〇〇の形に見えるね。やり方を教
えて。ほくにもできそう。**

③④対話的鑑賞から得た色や形
に材料関わるヒント基に、自分
のイメージに合った表現方法・
材料・技法等を選びながら、自分
つくりたいものをよりよい表現
をし続ける。

**最初は～だったけれど、～さんから
ヒントをもらって、うまくできた。
おかげでさらに工夫できそうだ。
やっぱりほくは、このやり方がいい。
ほくの自信作だ。**

=本時の授業像=

子どもが相互に自分の表現を開き、見たり聞いたり話し合ったりする「対話的鑑賞」を通して、互いに想を広げながら自分の思いの実現に向けよりよい表現をする授業。



過程	研究の手立て
終末	観点に基づいて学びの過程を振り返り、評価をする。
展開	<p>表現②</p> <p><u>自分の表現を省みながらさらに表現する</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 対話的鑑賞をに、自分の表現や表現にいたるまでの行為を深く考え、再度自分らしい表現をする。
	<p>対話的鑑賞</p> <p><u>観点に基づいて対話的鑑賞をする</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自分の表現の開示、友達のよさの発見 ※対話的鑑賞の具体例は、上記の具体的な子どもの姿
	<p>表現①</p> <p><u>観点に基づいて表現をする</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 思いのままの表現、試行錯誤
導入	<p><u>対話的鑑賞の観点をはっきりさせる</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 色セロハンの形や色の組み合わせ（大きさ、重ね方、色具合、貼り方、構造）

2 目標

- ・自分の構想に従い、材料の組み合わせをしたり、正しく用具を扱ったりして、工夫してつくりすることができる。 【創造的な技能】
- ・友達との対話的鑑賞を通して、自他の作品のよさや面白さを味わう。 【鑑賞の能力】

3 展開【45／180】（本時は、表現段階2時間目）

段階	学習活動	時間	研究にかかる具体的な手立て	留意点（準備等）
導入	1 本時の課題をつかむ。 セロハンを使って、すてきな色を見つけよう。	5分	◆鑑賞の観点をはっきりさせる。 <u>色セロハンの形や色の組み合わせ（大きさ、重ね方、色具合、貼り方、構造）</u> ・板書等への位置づけ ・具体的資料の提示（セロハンの貼り方等）	・前時までに製作した作品
展開	2 自分のつくりたいものに合った材料を選び、つくり方を工夫してつくる。 （表現①）。 思いのままの活動 試行錯誤	10分	◆観点を意識させながら表現をさせる。 ・光と影の美しさができるように、材料の組み合わせを試みる活動を促していく。 ・教師の投げかけ「どんどん試してみよう。」 ・子どもの声の引出し「うまくいっているかな？」	・道具の準備【セロハン、はさみ、接着剤、トレーシングペーパー、カッター、カッターマット、片面段ボール】
	3 <u>対話的鑑賞をする。</u>	10分	◆互いの作品を見て、感じ取ったことを話し合わせる。 ・友達の表現や発想から感じたことを自分の言葉に置き換えて、伝えることができるようにする。 （驚き・発見・新たな気づき）	・用具の安全指導の徹底
	4 自分の表したい感じをいろいろな方法を使って表現する （表現②） 。	10分	◆自分の表現を省みながらさらに表現させる。 ・対話的鑑賞で得た表現の中から、自分のつくりたいものに合った表現を選ばせ、さらによりよく表現できるように促す。	・子どもの表現の手助けとなるように、場の設定を工夫する。 ①机の配置 ②ヒントコーナー ・これまでの学習の紙板書
終末	5 振り返りをする。	10分	◆学びの成果・課題・変容を自覚させる。 ・導入での観点到に沿って自分の自慢の形や色は～ ・変容のきっかけ 誰のどの表現を見て～	
	6 後片付けをする。		◆次時への意欲につながるように、声かけをする。 「次の時間は、どんなことをやってみたいですか。」	